

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ガード下排水施設等維持管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山(都市基盤の整備)	主管課	道路管理課				
施策	1-5	土地利用・生活環境に配慮した道路整備	主管課長	鈴木 和男				

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	南流山駅前及び中駒木線ガード下道路	意図	市道106号線及び中駒木線ガード下に設置した排水ポンプの適切な維持管理により、大雨時の冠水・被害発生を防止する。
事業内容	・市道106号線のJR武蔵野線との交差部である南流山駅前ガード下及び市道114号線の東武野田線との交差部である流山おおたかの森駅前に設置された雨水排水用ポンプを適切に維持管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	・TXの建設に伴い、JR武蔵野線と交差する南流山駅前ガード下道路の市道106号線南流山・芝崎幹線の復旧に併せ、排水施設を設置。流山3号雨水幹線の整備も並行して完成したほか、東武野田線と交差する流山おおたかの森駅前ガード下の市道114号線中・駒木線ガード下にも設置。TXの開業に併せ両駅周辺の交通量が飛躍的に増大すると考えられ、今後通行量増大状況を見極め、これに合せた不測の事態への段階的対応が必要となる。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		支障処理件数	1	0	0	件	
指標で表すことができない定性的な成果	・台風等による集中豪雨時における道路冠水を防止し、通行の危険性を排除することで、安全な道路空間を確保し市民生活における円滑で安全な通行の確保が						目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況)
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況)			
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,721,100	4,179,000	4,300,200	・排水ポンプの適正な管理を行うとともに、ポンプのオーバーホールを実施したことにより、大雨時の冠水・被害発生を防止できた。			
事業費(b)(円)	2,625,000	2,106,000	2,041,200				
うち一般財源	2,625,000	2,106,000	2,041,200				
職員給与費(c)(円)	2,096,100	2,073,000	2,259,000				
人役・職員(人)	0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	継続 (事業を現状どおり継続すべき)					
					コストの削減	A 削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H27)の改善計画	・降雨時等突発的な災害時に適正にポンプが、作動するよう点検及び中駒木線に設置してある排水ポンプのオーバーホールを実施する。	取組の課題	・降雨時等突発的な災害時にゴミの詰まりで適正にポンプが作動しない可能性が懸念される。
今年度(H27)に実施した取組	・排水ポンプのオーバーホールを実施したことにより、適正な排水機能を確保した。また、台風等の降雨が予想された場合は事前にパトロールを実施した。	今後の改善計画	・ガード下排水ポンプの維持管理は、事故がないように委託を推進していく。また、今後、梅雨前は施設周辺の清掃を実施する。